



資料

2014年11月6日

長崎県工業技術センターとソーバス株式会社

高効率電力変換設計技術の共同開発を開始

ソーバス株式会社（本社：東京都八王子市、代表：徳重和雄）は、長崎県工業技術センター（長崎県大村市、所長：馬場恒明）様との間で、パワーエレクトロニクス関連設計技術の共同技術開発を開始致しました。

太陽光・風力・水力・地熱、等の再生可能エネルギーを使った小～中規模（～10KW）の発電装置においては、発電エネルギーを商用電源相当レベルの交流電源への変換効率向上と変換精度（周波数・電圧、等々）の向上が課題となります。

弊社は、従来より電力変換技術の一部でありますデジタル制御技術の設計をしており、非絶縁型（主たる用途は単相電源）においては10KW程度の太陽光発電装置にて変換効率は実測値で約97%超が実現できております。

今回の、共同技術開発はパワーエレクトロニクス系アナログ設計技術に優れる長崎県工業技術センター様と、弊社のデジタル制御設計技術を組み合わせることで更なる高効率化電力変換と変換精度向上を目指すものです。検討対象は、非絶縁型に加え絶縁型（主な用途は3相電源）も検討を計画しております。

本共同技術開発を今後の事業活動に活かして生きたいと考えております。

（ソーバス株式会社）2008年1月に創業。半導体要素技術開発業務に加え、システム設計受託事業では高度な設計技術力とパートナー様との協業で最適なバリューチェーンを構築し、お客様に最適のソリューションを提供しております。また、インテリジェント・エコターミナル（特許出願中）等の自社開発技術のビジネス展開も進めております。

WEBサイト <http://www.sorbus.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

ソーバス株式会社

〒192-0904 東京都八王子市子安町4-15-19 OHKUBO88ビル 205号

E-Mail : otoi-awase@sorbus.co.jp

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本報道発表内で提供されている情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。